

令和7年度 教育課程特例校における特別な教育課程【実施状況報告】

箕面市立第一中学校

1.概要

箕面市では平成27年4月から教育課程特例制度を活用し、箕面市立中学校の全学年において、「英語コミュニケーション科」を設定し、全ての学年で毎日英語に触れる取り組みを行っています。

市内の中学校では、年間140時間(週4時間)の外国語科(英語)に加えて、総合的な学習の時間から年間30時間削減し、「英語コミュニケーション科」の授業時数に充てています。英語コミュニケーション科を週に1時間程度設定することで、毎日英語に触れられる環境づくりを行うことができています。特別の教育課程を実施することで、9年間を通して子どもたちが毎日英語に触れられる環境づくりを行っていきます。

2.学校関係者からの意見（実施の成果及び課題など）

- ・ALT との授業や英語コミュニケーション科の学習を通して、英語を使ってやり取りしようとする生徒の意欲が高まった。
- ・英語科と英語コミュニケーション科の連携により、学習内容と実際のコミュニケーション場面が結び付き、学びの深化につながった。
- ・英語によるコミュニケーション活動の充実に向けて、文法の正確さだけでなく、積極的に伝えようとする姿勢を重視した授業づくりが求められる。
- ・ALT と英語でやり取りできる機会を充実させる。

3.今後に向けて（課題の改善のための取組など）

学校生活において ALT とのコミュニケーションの機会を充実させ、英語を実際に使用する場面を増やす。あわせて、英語科と英語コミュニケーション科との連携を図り、学習内容の理解をより深める。

また、自ら考え、表現する活動を積極的に取り入れることで、自己表現の機会を充実させるとともに、英語への興味・関心を高め、学習内容の定着につなげる。

さらに、AI を活用した英語での対話や発信活動を通して、英語で自分の考えを伝える機会を増やし、英語による発信力の向上を図る。